

産業デザイン研究所

Research Center for Industrial Design

研究所の概要

1. 目的

本研究所は、産業デザイン、インダストリアルデザインに関する調査活動と実践的研究を行い、技術と産業の架橋となり、文化の発展に資するデザインを探求するものです。

「デザイン」の語で表される概念は拡張を続け、また「プロダクト」の語も tangible な製品に限らず、ソフトウェアにおいても一般的に使われるようになっていきます。とはいえ、人間の身体性が全て情報化されるのはまだ先のことであり、現実空間での生活は地球上の物理法則の支配下にあります。ここでは「デザイン」の中でも機能や情報を人間とのインターフェースとして具体化し製品化する行為を「産業デザイン（industrial design）」として定義します。

2. 設置期間

2022年4月1日～2024年3月31日

3. メンバー

9名（所長を除く）

4. 活動概要

各自が研究を行い、その成果を出版する。



所長

伊藤 潤

ITO Jun

キーワード

産業デザイン、インダストリアルデザイン、デザイン史

令和5（2023）年度の研究活動内容及び成果

1. 活動内容

- 研究体制の拡充
- 東京都関係者や海外（主に東アフリカを予定）関係者との協議
- 研究成果の出版

2. 成果

- 研究員を追加し9名体制とした。
- 東アフリカ関係者（東京女子医大）2名との協議を行い、現在論文を執筆している。
- 研究成果として論文1編を出版した（本学紀要）

吉田多津雄, 宮坂尚吾, 見藤素子, 河上芳朗, 太田敬太, 伊藤潤. 展覧会の開催プロセスと作品製作プロセス: 『ひみつ道具』展」を例として. 東京都立産業技術大学院大学研究紀要 (17)11-20. 2024

設置期間全体の研究活動内容及び成果

1. 研究活動内容

- (1) 研究体制の拡充
- (2) 東京都関係者や海外（主に東アフリカを予定）関係者との協議
- (3) 研究成果の出版

3. 成果

- (1) 研究所を設置し、web サイト (<https://rcfi.design>) を開設した。
- (2) 研究員ならびに東アフリカ関係者（東京女子医大）との協議を行った。
- (3) 以上の成果として、論文2編、書籍1冊を出版した。

吉田多津雄, 宮坂尚吾, 見藤素子, 河上芳朗, 太田敬太, 伊藤潤. 展覧会の開催プロセスと作品製作プロセス: 『ひみつ道具』展』を例として. 東京都立産業技術大学院大学研究紀要 (17) 11-20. 2024

早坂麗子, 伊藤潤. アフリカにおける DX の潜在的ニーズと可能性ーウガンダ共和国での女性支援事業の事例を元に. 東京都立産業技術大学院大学研究紀要 (16) 59-65. 2023

早坂麗子. 「ボロロ」とよばれる人々の村で過ごして : カメルーン北部における人類学的調査記録. 産業デザイン研究所種版局. 2023